

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	がんばろう！つばさネットワーク
活動テーマ	被災地の元気に貢献する、被災地・大阪間の高校生交流事業



がんばろう！つばさネットワークは東日本大震災を目の当たりにした高校生の「何かしなければ」という思いに応えようと平成 23(2011)年 4 月 22 日に設立した団体です。これまで 10 回の気仙沼現地ボランティアで高校生 426 名を派遣し、9 回の大阪招聘で宮城県の高校生 261 名を受け入れ交流しました(平成 31 年 3 月 29 日現在)。年度末の 3 月 23-25 日に気仙沼高校、登米高校の 2 校 36 名の高校生、4 名の教員を受け入れ交流しました(歓迎会は福岡洋一市長を来賓に約 500 人が参加)。

目的は①被災地の「忘れられている」という不安を払拭、高校生の活性化で被災地の元気に貢献する。②南海トラフ地震に備え、高校生が中心になって学校・地域・市民団体の防災ネットワークを作る、ということです。

方法としては、①地域の方々による宮城県の高校生のホームステイを実現すること、大阪の高校生がホスト家族を支援すること。②北摂つばさ高校の主催で野球試合を実施し北摂の 4 校と練習試合を実施することです。

結果、①大阪と宮城の高校生の交流が盛り上がり、大阪の「私達は被災地のことを忘れていない」のメッセージを被災地にお届けすることができました。②高校生の活動を支えるネットワークが広がり受け入れ態勢の持続可能性を高めることができました。③大阪北部地震、西日本豪雨、台風 21 号、北海道地震などで「災」の年となった 2018 年度、茨木市も被災地となり、双方の地で高校生の元気がまちを明るくしている、今後も続けてほしい、と多くの方からの声をいただきました。

今回の大きな成果があがりましたのも、ひとえに公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団の助成を得たからこそと考えております。現在、2019 年 7 月の気仙沼での交流、2020 年 3 月の大阪での受け入れの準備を進めています。今後とも活動へのご理解とご支援をいただければ幸いです。ありがとうございました。